

未来を拓く人づくり(小中一貫教育)プロジェクト

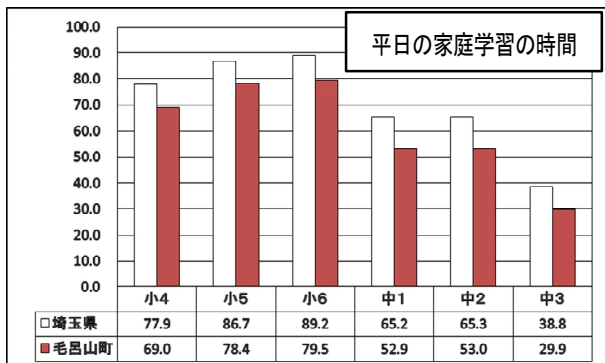
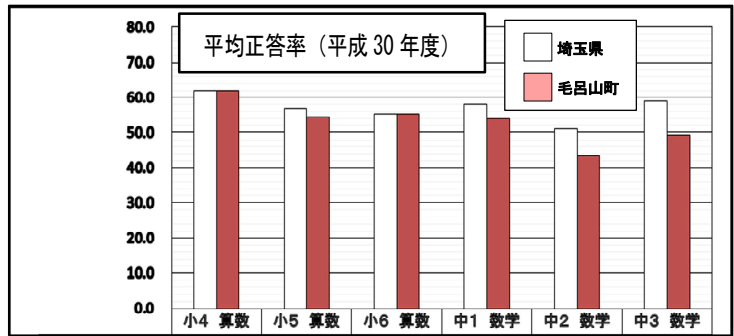
前号で現在の毛呂山町の教育をめぐる状況を説明しました。そこで本号では、毛呂山町の児童生徒の学力や学習状況についてお知らせします。

◆毛呂山町の児童生徒の状況(平成30年度学力・学習状況調査の結果より)

右のグラフは、埼玉県で実施された学力・学習状況調査のうち算数と数学の結果を学年別に埼玉県の平均正答率と比較したグラフです。

小学生では、埼玉県の平均に近い結果が出ていますが、中学校に進学してから埼玉県の平均と差が出てきていることがわかります。これはひとつに、いわゆる「中1ギャップ」が影響しているものと考えます。

毛呂山町では、このような状況を改善するための方策の一つとして、「毛呂山っ子みんなの学習規律」と題した小・中学校で共通の学習規律の約束を設定し、指導してきました。また学習の面においては、小学校の授業における取組を中学校でも引き続き行うことができれば、「中1ギャップ」の影響が緩和されると考えます。



小4～小6：30分以上 中1・中2：1時間以上 中3：2時間以上

左のグラフは、埼玉県学力・学習状況調査の児童・生徒質問紙調査における平日(月～金曜)の家庭学習の時間についての質問の結果です。

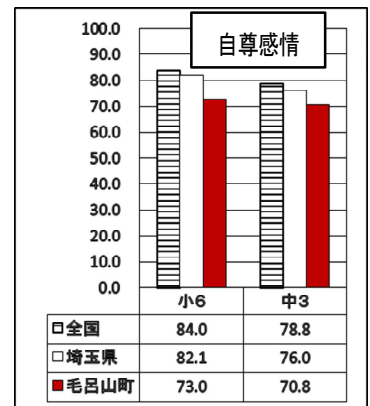
毛呂山町の児童・生徒の家庭学習に取り組む時間は、埼玉県の平均を下回っていることがわかります。また、家庭学習を「全くしない」児童・生徒が1割以上みられる学年もあります。これらの結果から家庭学習の習慣化にも課題があると考えます。

毛呂山町では、家庭学習啓発リーフレット「のびよ！毛呂山っ子」や家庭学習ノート「もろ丸く

ん学習ノート」の配布(小学生用)、やる気アップデーの設定等、家庭学習の習慣化に向けた取組を行っておりますが、小・中学校での取組の共有、家庭や地域との連携を図り、さらに取組を強化することが必要です。

右のグラフは、全国学力・学習状況調査の児童・生徒質問紙調査における自尊感情についての質問(自分には、よいところがあると思いますか)の結果です。

毛呂山町の児童・生徒は、全国や埼玉県の平均と比較すると、自尊感情が低い傾向にあることがわかります。この結果から、小・中学校、家庭、地域が連携を図り、自分に自信をもつ経験を多くさせることが大切であると考えます。



そのための小中一貫教育とコミュニティ・スクールです。

◆小中一貫教育と学力向上の関係（平成33年度を目標に全面実施）

毛呂山町では、これまで小学校と中学校で連携教育に取り組んできました。

小中連携教育とは、小・中学校の教員が互いに情報交換や交流を行うことを通じて、小学校教育から中学校教育への円滑な接続を目指す様々な教育のことを指します。

小中一貫教育とは、小中連携教育のうち、小・中学校の教員が目指す子ども像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育（学びの一貫性や教員同士の交換授業など）の実施を目指します。

毛呂山町では、これまで取り組んできた小学校と中学校の連携教育を発展させて、平成33年度全面実施を目指して、毛呂山中学校区と川角中学校区で小中一貫教育を進めていきます。

◎小中一貫教育を進めることで学力向上について期待できること

- ・切れ目のない9年間を見通した教育活動により、中学校に進学する子供たちの不安も軽減され、中1ギャップの解消が期待できます。
- ・小学校の極め細やかな指導、中学校の専門性を生かした指導を共有することで学力の向上を図ることができます。
- ・「できる」「わかる」喜びを味わうことで、自尊感情を高めることができます。

◆コミュニティ・スクールと学力向上の関係（平成31年4月から実施）

コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置している学校のことを指します。学校運営協議会とは、保護者や地域の皆さんが学校運営に関わることができる制度で、教育委員会が委嘱する協議会委員は、学校長が作成する学校経営の基本方針の承認や学校経営の取組に関する意見を学校や教育委員会に述べることができます。



毛呂山町では、平成31年4月から毛呂山中学校区と川角中学校区に学校運営協議会を設置し、各中学校区においてコミュニティ・スクールとしての活動を進めていきます。

◎コミュニティ・スクールを導入することで学力向上について期待できること

- ・保護者や地域の方々が教育活動に「地域の先生」として参加することで、地域人材を生かした様々な授業が実施できます。
- ・中学校区の特色・地域の力を生かした教育を創り出し、実施することができます。また、毛呂山町や地域を愛する心、「郷土愛」を育むことにもつながります。
- ・多くの方々に関わっていただくことで、褒められ、認められ「自分にはよいところがある」という自信がつかます。

★疑問？質問？★

Q 小中一貫教育とは、どのようなものなのですか？

A 小中一貫教育は、教育の内容のことを指します。

Q 小中一貫校とは、どのようなものなのですか？

A 小中一貫校は、小中一貫教育を実施する学校の形態です。小中一貫校の施設形態としては、施設一体型と施設分離型があります。

Q 既存の学校は、統合されてひとつになってしまうのですか？

A 毛呂山町では、平成33年度の全面実施を目標に小中一貫教育の推進に取り組んでいます。施設形態は、当面現状を変えずに進めますが、今後、学校施設整備基本計画（仮）で検討していきます。

